

平成26年度市民まちづくり提案事業(市民活動促進部門) 事業実績1

事業者	団体名	一般財団法人 それいゆ鳥取地区	代表者	西根 雄司
事業内容	助成事業名	ナイトウォーク		
	事業目的	毎日何気なく行動している「歩く」ということに注目し、無理なく始められて楽しく継続して運動できればという思いから、「ナイトウォーク」を開催する。「長距離を歩きぬく」という一つの目標を目指すことで達成感を得るとともに、人間関係が希薄になりがちな社会において、参加者同志はもちろんのこと、行きかう人達とコミュニケーションの場に繋がり、新たな人の輪を築いていけたらと考えている。		
	事業の内容	企画・運営に対しては、全員有志により実施した。打ち合わせ会を2回行い、事前準備及び当日の進行・サポートについて意見交換した。会員及び一般市民に対して、チラシを作成して参加者及びスタッフを募集した。参加者への安全配慮及び緊急時に対処するため事前に保険への加入を行った。当日は、会員が参加者の輸送および伴走と休憩ポイントでサポートを行った。  		
	実施場所	鹿野そば道場(出発)～駅前風紋広場(ゴール)	実施日	平成26年8月23日
	対象者	募集チラシ、HPなどでの参加希望者	参加人数	32名
	事業の成果	・参加予定者が応募に対して8割集まり活性化を感じた ・全員が完歩し、充実した一時を得ることが出来た ・体の不自由な方も短い距離を完歩され、目標を達成でき効果があった ・夜道で歩道も無い区間があり、安全面に配慮は必要と感じた ・参加者とともにスタッフの充実が必要と感じた		
	今後の活動の展望	仲間とともに歩くことを通じて、健康づくりをはじめとして、コミュニケーションを図ることにより、友情の輪が芽生え人生に有意義である。今後も事業を継続させ、一人でも多くの参加者が得られることを期待する。あわせて、スタッフの協力も得ていきたい。		
費用	総事業費	28,000	助成金額	28,000

平成26年度市民まちづくり提案事業(市民活動促進部門) 事業実績2

事業者	団体名	東中校区心豊かな子どもを育てる会	代表者	中西 照典
事業内容	助成事業名	子育て・親育てを推進する地域づくり		
	事業目的	地域で児童・生徒の健全育成を推進するため、幅広い方が目にする立て看板を設置し啓発につなげる。また、地域での子育てを通して住民が一つとなり、地域活性化を目指す。立て看板の標語を募集するにあたり、保護者・地域の方が標語を考える中で「家庭で・地域で何が必要なのか?」を問い直す機会となり、問題意識を共有し『親育て』につなげる。		
	事業の内容	子どもたちのモラルやマナー・生活環境・地域環境などに関する標語を募集し、立て看板を作成して東中学校区内各所に12基設置。役員、推進員(97名)が中心となり各学校・各地区公民館の協力を得て実施した。  		
	実施場所	鳥取市立東中学校区内 12箇所	実施日	平成26年7月12日～ 平成27年3月15日
	対象者	鳥取市立東中学校区内の 児童・生徒・保護者・住民	参加人数	563名
	事業の成果	立て看板の標語募集を学校や地域住民みんなで取り組むことにより、モラルやマナー・子育てや地域づくりについて考える機会が出来、多くの参加・協力を得られた。特に東中学校では全校生徒による取り組みで「東中学校・元気になる標語50音一覧表」を作成し各地区・学校に掲示、立て看板同様、健全育成・モラルやマナーの啓発に役立っている。		
	今後の活動の展望	今回、多数の応募の標語を分析して地域や学校の問題について考え、次に繋がる活動に至ることが出来なかった。今後は、今回の反省を基に、地域・学校・保護者が意識を共有し、新たな問題提起・解決に向けた取り組みを推進していきたい。		
費用	総事業費	100,589	助成金額	80,000

平成26年度市民まちづくり提案事業(市民活動促進部門) 事業実績3

事業者	団体名	とっとりキルトクラブ	代表者	谷口 よし子
事業内容	助成事業名	鳥取キルトクラブ運営事業		
	事業目的	本事業は、パッチワークを通じて、福祉事業に寄与することを目的として、相互の親睦と技能向上を図ることを目的とする。		
	事業の内容	こども学園へ寄付するための学童用絵本袋、給食袋、体操着入れ、上履き入れ等を制作。さざんか会館・県民ふれあい会館等で制作を行い、社会福祉法人鳥取こども学園にて寄付を行った。 		
	実施場所	社会福祉法人鳥取こども学園	実施日	平成26年12月25日
	対象者	市民	参加人数	約100名
	事業の成果	当事業において、会員は社会貢献することができ、大変有意義な時間を得ることができた。こども学園の子どもたちは、手作りの暖かさにふれることができたと考えている。		
	今後の活動の展望	大人から子どもまで、初心者でも取り組める内容の講習会を行い、習得した技術を用いて「手作り品寄付」などの社会参加の広がりを期待している。		
費用	総事業費	66,032	助成金額	32,000

平成26年度市民まちづくり提案事業(市民活動促進部門) 事業実績4

事業者	団体名	コミュニティフレンドとっとり	代表者	松田 悟
事業内容	助成事業名	コミュニティフレンド活動		
	事業目的	障がいがあることや高齢になったことで、友だちづくりが苦手な人たちに、「まちの中のともだち」を紹介し、当り前の楽しい時間を友だちと共に過ごしてもらうことを目的とし、これにより誰もが地域で普通に暮らす権利が充たされることを願う。併せて、会員、フレンド、利用者相互の親睦と連携を図るものとする。		
	事業の内容	①コミュニティフレンドガイドブックの作成を行った。 ①活動ペアによりそれぞれ予定を組む。基本月1回の活動。 ②5組のペアが年33回のフレンド活動を行った。 ③主な内容は、ショッピング、カラオケ、カフェ、自宅で交流など。 特定の場所で活動するという事ではなく、自宅で話をしたりどこかに出かけたりと様々な場所で活動して、障がいのある人となない人が共に楽しい時間を過ごした。 		
	実施場所	鳥取市内	実施日	平成26年6月10日～ 平成27年3月31日
	対象者	障がい者・高齢者等	参加人数	約30名
	事業の成果	現在5組のペアが活動しているが、その内4組のペアは定期的な活動が出来るようになった。それにより障がいのある人もない人も共に生きている事の実感が持てている。課題としては、障がいの無い人「フレンド」の獲得である。ノーマライゼーションが叫ばれて久しいが、いざ障がいのある人の「友だち」になるとなかなか協力者が得られにくい。如何にして障がいの無い人「フレンド」を獲得するかが課題である。		
	今後の活動の展望	現在5組のペアが活動しているが、障がいのある人「本人」からの利用希望が6名以上あり、それらの方々に障がいのない人「フレンド」を紹介していかなければならない。鳥取県東部地区でこのコミュニティフレンドの活動を更にPRし、障がいのある人ない人の共生社会を築いていく。		
費用	総事業費	115,464	助成金額	92,000

平成26年度市民まちづくり提案事業（市民活動促進部門） 事業実績5

事業者	団体名	えねみら・とっとり (エネルギーの未来を考える会)		代表者	手塚 智子
事業内容	助成事業名	おひさまエネルギーを活用した節電所づくりによる鳥取版“自/地エネ”推進事業			
	事業目的	鳥取に降り注ぐ太陽エネルギーを活かしつつ(マイ発電所も活用)、省エネ、特に節電を掘り下げ節電所を作り、一軒からできる自/地エネ(エネルギーの自給地足)を検証する。成果を発信し、楽しく気軽にできる“節電所づくり”を提案することで、鳥取らしいライフスタイルに基づく足元からのエネルギーシフトを推進し、“節電所”を増やすことで、鳥取地域のエネルギー自給率向上の機運を盛り上げたいと思う。			
	事業の内容	①節電所づくりに向けた学習会 省エネ世帯と太陽光発電システム導入世帯見学会 ②ワークショップ 電気、ガス、薪を使わない太陽エネルギー料理とクッカー作りを行った(ソーラークッキング)。 自/地エネの実践に必要な設備(インバータ、バッテリーなど)を参加者とともに設置し、節電所を一緒に制作した。 ※節電所づくりの模様を学ぶ：学習会、および見学会 10/23 1.遊楽所づくりに向けた学習会 ※ワークショップ 8/18 ソーラークッキング 3/22 オフグリッドシステムの設置 2/7 2.見学会 2.遊楽所(省エネ世帯と太陽光発電システム導入世帯) 			
	実施場所	鳥取市内	実施日	平成26年6月12日～ 平成27年3月31日	
	対象者	持続可能な地域づくりや“エネルギーの自給地足”に関心のある方、親子など	参加人数	約50名	
	事業の成果	子どもも参加可能なイベントとして広報を行ったことで、親子連れの参加があり、家庭での話題が広がる、節電の効果が上がるなどうれしい成果があった。節電の可能性が見える化するとともに(参加者同士の情報交換や計測器の利用)、鳥取ならではの省エネの要点を押さえることで(冬の暖の取り方など)、効果も上がり、モチベーションや参加意欲の向上につなげることができた。			
今後の活動の展望	節電所実践宅の計測を継続し、情報を発信していく。今回作った「節電所」を、自/地エネのモデルハウスと位置づけ、引き続き見学会を開く等により、「節電所」を体感し共有できる場とするとともに、節電カフェ(仮称)を行っていきたい。今年度の成果を活用し、暮らし方(家族構成や、マンション/一軒家など)の異なる世帯での節電所モデルを発信していきたい。				
費用	総事業費	252,395	助成金額	200,000	

平成26年度市民まちづくり提案事業(市民活動促進部門) 事業実績6

事業者	団体名	とっとり森のおさんぽ会トコ	代表者	尾崎 敬子
事業内容	助成事業名	見てほしい森での笑顔 小西貴士 写真展&講演会		
	事業目的	小西貴士氏は、八ヶ岳の南麓、清里高原に広がる森や野原を舞台に「子どもをめぐらうまくことばにならないこと」をテーマに写真を撮り続けている。子育て中の親たちをはじめ、子どもと関わる多くの方に、小西氏の写真と話に触れていただくことで、子どもとのかかわり方のヒント等多くのことを感じていただき、鳥取における子育ての楽しみ方のヒントを提案したいと考えている。		
	事業の内容	○写真展 小西貴士写真展示、鳥取県内の森のようちえんなど幼児対象の野外活動をしているサークルや団体のパネル展示 ○講演会 小西氏のご厚意で特別に1日に2回行った。   		
	実施場所	鳥取県民体育館 出合の森 アクティブとっとり	実施日	平成27年3月7日～ 平成27年3月10日
	対象者	子育て中の親、子どもに関わる仕事をされている方	参加人数	約500名
	事業の成果	出合の森での交流会では、直接子育てに関わっている大人のみならず幅広く多くの方に、自然の中での子どもの育ちに関心を持っていただけた。講演会は、小西氏の写真や公園を通して、多くの大人や子どもが「子どもの時間」を過ごすことのすばらしさに気づき、感動されていた。		
	今後の活動の展望	より広く市民に関心を持って参加いただけるように、効果的な広報の仕方など検討して今後につなげていきたい。参加された方からは「もう一度聞きたい・見たい」という声が多く、かたちを変えて、再度このような企画ができればと考えている。		
費用	総事業費	271,805	助成金額	200,000

平成26年度市民まちづくり提案事業(市民活動促進部門) 事業実績7

事業者	団体名	雛がたり実行委員会	代表者	八百谷 和子
事業内容	助成事業名	第5回 お雛さまコンクール【エッセイ&絵てがみ&短歌部門】		
	事業目的	○鳥取市用瀬町・流しびなの里を広くアピールする コンクールを実施することにより用瀬町をアピールし、コンクール入賞者・応募者の来町を促し、年に一度の流しびな行事を盛り上げたい。 ○お雛さまに込められた家族への愛情の大切さを広く喚起する 雛文化を大切に守り伝えることを次世代に伝え、鳥取市の「ふるさとを思う」子ども育成のお役にたちたい。		
	事業の内容	・「第6回century朗読会」をわらべ館にて開催 「第4回お雛さまコンクール」作品を展示、朗読紹介 ・「第5回お雛さまコンクール」開催。チラシの配布や各種メディア等を通して、広くコンクールの募集を行い多数の応募があった。 		
	実施場所	用瀬中央公民館	実施日	平成26年6月15日～ 平成27年3月31日
	対象者	世界中の男女	参加人数	3,240名
	事業の成果	エッセイ部門446通、絵てがみ部門1,850通、短歌部門943通の応募があった。当初の目標を大きく上回る結果だった。毎年応募される先生方からは、「入賞作品の素晴らしさ、心がしみじみするコンクールです」と評価していただいた。用瀬の流しびな文化を世界中に発信することができた。		
	今後の活動の展望	平成27年度中に5年間の入賞作品集を出版予定。コンクールについては、継続方法を模索中。課題としては、会員の確保である。主婦の方など、家族の状況によって活動に参加できなくなったりして退会される。活動継続のためには、同志を増やす工夫が必要だと実感している。		
費用	総事業費	492,443	助成金額	200,000